時事新報は日本國中唯一の毎日刊行新聞紙なり

時事新報

第二千百五號
明治廿一年十一月十一日日曜日
舊戊子十月八日（丙、戌）
日出午前六時十四分
入午後四時三十六分
月出午後一時
入午後十一時五十分
滿潮午前十時三十五分
午後二時零九分
（西暦一千八百八十八年）

時事新報

國會奇談（去る八日の續）　筑陽生寄稿

英國の國會は古に開けたる者にして數百年來種々の變遷を經たれば其間に議院の勢力熾にして國王も制する能はざりし事もあり又これに反して職に倦み議場は恰も懶睡諧謔の府と爲りたる事もありて世人はこれに様々の稱を加へ其褒貶も亦一ならず試に重なる者を擧げんに

瘋癲議院（Mad parliament）は千二百五十八年四月十日有名なるシモン、ド、モントホルトの召集したる下議院にして此會には民權黨勢力を占め頻りに王權黨を壓して巨魁モンドホルトは時の國王ヘンリー三世に向ひ議院の權利を枉げたるを訴へ須らくこれに權力を附與して前の誤を償ふ可しと論じ或は國王は濫りに外國人を登用し且つ之に私して却て本國の人民を輕蔑し毫も其利害を意とせずして專横至らざる所なく或は忠義を盡したる人民を度外視して更に之を責罰したるが如き其失一にして足らず又自身の國に盡力したる功勞少からざりしに陛下は初めに賞典を約しながら俄に説を變じて功臣を待するに其禮を以てせざるの過を數へたるに國王は縱へ約束あるにもせよ不遜の言を吐き罪責を犯す者に對しては決して其約を履行するの責任ある可からずと答へたるにモントホルトは是れ國王ならざりせば豈に其虚言を譏めずして止まんやと非常の激論を放ちたれども政府は之を制する能はず時の人此の國會を稱して瘋癲議院と爲したり

無慈悲議院（Merciless parliament）千三百八十三年二月三日リチャード二世の召集したる國會にして民權黨は諸大臣を攻擊し頻りに其罪過を數へて彈劾したるが爲めに或は職を奪はれ或は追放に處せられ甚しきは死罪の宣告を受けたる者あるを以て無慈悲議院の稱起りしと云ふ

短き議院（Short parliament）國會は國の法令を議し或は租税の徵收を定むる處なれば其議事の數箇月に渉るは通例なれども英國の歴史中短期限を以て著しきは千三百九十九年三月に集會したる議院にして開會僅かに一日然かも其日に國王リチャード二世を廢して議院は直ちに解散したり斯て新議院を召集するの必要起るに及び越えて六日ヘンリー四世は更に改撰の手續をも爲さずして再び元の議員を召し之を新議院と名けたり古來國會開會の期限は長短一ならずと雖も爾かも一日を以て解散したる者は唯だ此一事例ありと云ふ

永き議院（Long parliament）之に反し國會議員に活動の氣象少く何れも姑息に安じて國政の改革を計らざる場合に於ては年々集會を開くも何等の用事ある可らず千六百六十一年五月八日ウエストミンスターに於て初めて集會を開きたる議院は其一例にして爾後千六百七十九年一月二十四日の解散を受くるまで前後十八年の間英國に撰擧の事なく同一の議院相承けて國事に參與したれども當時の代議士は何れも皆な腐敗したる族にして或は國王より賄賂を受け或は內閣大臣に頤使せられ卑屈因循にして少しも自主の考なく甚しきに至ては佛蘭西政府の內命を受け專ら佛國の政略に左袒して國を賣りたる者もありしと斯くの如き長期限の議院は英國に於て他に聞かざる所なり

無學議院（Unlearned parliament）千四百四十年に時の大藏大臣フッサヒルド侯は議員を撰ぶに當り總て法學を修めたる者若くは法律を業とする者に投票す可からずとの箇條を設け以て撰擧に干渉したり其意の在る所を察するに法律に通じたる者は理窟を述べて施政の妨害を爲すが故ならんと雖も左りとは無學も亦甚だしき次第にして恰も學者は國會議員たる可からずと云ふと五十歩百歩なるのみ依て時人これを評して無學議院となしたるよし

無力議院（Powerless parliament）國會に黨派別れて互ひに其主義を爭ふに當りては勝敗優劣豫じめ計る可からざるが故に多數を制せんが爲めに反對者を要擊したる工風も亦一策ならんか千六百四十二年十二月に召集したる議院に於ては王權黨の主領グレー侯は中佐プライド氏に命じ二大隊の兵を以て議場を圍ましめプレスビテリヤン派の議員四十一名を中途に捕縛して一室に幽し又百六十餘名の議員を議場外に驅逐し中立黨にして因循姑息なる議員を除くの外議場に入らしめざるより殘る者は僅々五六十人に過ぎずグレー侯も今は恐るゝ所なしとて平生政府に敵意を表し若くは國王に迫て其特權を殺ぎたる反對議員の職を奪ひ之に乘じて百事を專決したるは少數黨が暴力を用ひて多數黨を壓倒したる手段にして偖又跡に殘りたる少數黨は何れも唯々諾々の徒なれば隨て無力議院の稱出でたるなり

少數議院（Little parliament）千六百五十三年七月四日クロムウエルの召集したる國會を少數議院と云ふは外ならず初めクロムウエルは一百四十名の召集狀を發したるに來り會する者二名に過ぎず斯る少數にては如何ともする能はざれば其年十二月十二日に解散したり

醉倒議院（Drunken parliament）チアールス二世の位に復して後蘇格蘭に國會を開きたるに當時の議員は何れも酒を嗜み衆員時に泥醉して議事を開く能はざるより休會したること一二度ならず或る時の如きは政府の委員ミッヅルトン侯が痛く醉ふて椅子に凭る能はざるより議事を中止したり醉倒議院の名空しからずと云ふ可し

以上は日本の熱心者流が二十三年後の事を想像するに當り胸中の漫談に欺かれて國會を買過ごすことなからしめんが爲め二三の事實を示したるまでなれば倘は我國々會の想像に就ては他日重て意見を陳べ時事新報の餘白を假ることあるべし記者足下幸にこれを諒せよ（完）

雜報

○施療の制、癒すべし　世は情、情は人の爲めならずとは世人の能く口にする諺にして其意蓋し人の不幸を憐み惠むも其方を究めず、其道に依らずして惠むべからざるものを惚むの弊を警めたるものならん、そも廣き世間の其中には異樣の人物少なからず種々樣々と工風を廻らし他人の仁惠を妙に利用して恬然自ら恥ぢず果ては折角の仁惠も仁惠とならず徒に一種の人物の私慾を滿し其餘波延いて世人の德義を傷ふことの例は獨り我國のみならず西洋とて決して稀有の事にあらず今其一例とも云ふべきは府下に仁惠を旨として設立したる某病院は志篤き諸方の人々より醵出なしたるその金を資本とし醫藥の代なき貧民の病苦を施療し居ることなるが設立以來入院患者の數も次第に增加し中には多年の病痾危篤の難症をも全治し得て再び元の健全なる身體に復したること難有けれとて只管仁慈の深きを感じ居るものさへ少なからざる由なれば斯る擧は眞に盛世の美事にして結構の事柄なりと申すべきも其裏面に廻りて能く內情を觀察すれば案外千萬の事多くして今の所謂入院患者なるものは決して醫藥の代に差支ゆべき貧民にもあらず且つ病人の事にしあれば衣食は素より滋味、淸淨を要するものと云ひながら常に身、絹布を纒ひ口、美味に飽き純粹の貧民には迚も夢みることさへ叶はざる衣食をなし居るにも拘らず其病院費の一端にとて奇特にも醵金し居る數多の篤志者其人中には隨分未だ曾て件の入院患者の如き贅澤三昧の衣食をなしたる例さへなきもの少なからずといふ折角仁慈の爲めに設立したる其病院も既に斯る弊害の生じ來りて徒に純粹なる貧民にもあらざる一種の人物に誤用せらるゝに至りしは返す〲も口惜き次第なれば入院患者の制に今一層嚴密の調査を加ふる事となさんか、それも到底詮なき事なれば此際斷然施療の仕組を革めて斯る惡弊を一掃し去るこそ却て大なる仁惠ならずやと云々と或人より投書の儘

○鹿兒嶋縣の實業　同縣下實業の景況を知らんとするには先づ授產場と養蠶敎習所の實況を觀察すればその一斑を見るを得べし今その模樣を記さんに授產所は同縣下無產士族の內工業篤志の者を敎授する所にしてその目的とする所は同縣下固有の產物を振起するに在りて卷煙草を製し飛白を織るの業に從事せり元來薩摩飛白は其名世に高きもその實同縣下の特產物にあらずして古來より沖繩の產物なれど薩摩飛白として名を知られたるを幸ひ沖繩より藍を取り寄せて薩摩飛白を織出せるなりと云ふ同場の資本は過般國庫より同縣に下げ渡されし十萬圓の內六萬圓を以て之に充て勸業課長之が長たり目下工女七百人ありて機三百臺を据ゑ毎日午前七時より午後五時までを執業時間とし各々孜々として工業を勉勵せり勸業課長は毎日午前七時より同九時まで午後二時より同三時まで即ち縣廳昇降の前後を以て同場に臨み熱心に諸般の事務を監督するものから場內の取締も頗る整頓し日々多數の工女登場すれども少しも混雜の模樣なし目下場內の產出多額なれども地方の需用繁多にして殆んど手廻はり兼ぬるが如しと云ふ又た養蠶敎習所も同縣廳の直轄にして勸業課長之が長たり敎師七名にして養蠶製絲の業を敎授する所あり同所は鄕友會と約束ありて同所を卒業したるものは鄕友會より之を雇ひ同縣下一般に蠶業を普及せしむるが爲め同縣に四十箇所の養蠶所を設置することゝし右の

教習所を卒業す
し漸次卒業生の數よ
は豫定の數に達
箇所の設置あ
の家屋を借り
遂には戸毎に
ても亦さ一定の
ば桑は四種を限
ず一法に從は
營業を盛んにす

○陶磁器共進
に於て開會し同
日閉場の筈あ
池園主河原德
は東京横濱神

○仙臺同志會
均、石邊大三郎
るものを起し
抱一館、評議會
規約の編制中

○全國有志懇
たる全國有志
したる件々は
る二十二年三月
しくば横濱に
○第二條　來
く纒りたる結
第三條　今回の
各々其地方よ
力すべき事○
へは其近府縣
べき事

○福井の近狀
町村の構成取
員より縣知事
る後更に內務
するは多分本
向きに岐阜、
府縣聯合共進
井の機業は其
販路も頗る廣
せしを歎き向
製造を試みた
今は當地特產
福井縣下にて
々流行の兆あ
盡力中あり○
收穫高昨年の
しが可ありの
上向にして一
配好く石油は
石十七圓位に

○米國油繪師
下の名所舊跡
着座の寫生油
とも頗る上手
等を寫し取り